

第3回高山駅周辺まちづくり協議会議事録要旨

日時：平成18年1月23日 13:30～
場所：高山市図書館 煥章館 学習ホール
出席委員 12名

《開会挨拶》

《助役あいさつ》

《会長あいさつ》

《議事》 報告事項

事務局より説明

1) 平成17年度事業内容

- 工事協定 JRアンダーパス
- 工事関係 ポップ公園
- 補償関係 建物移転補償契約7件
- その他 景観ガイドラインの策定

2) 今後のスケジュールについて

- JRアンダーパス工事 平成17年度～平成21年度
- 駅舎新築及び東西自由通路 平成21年度～
- 駅東西広場 平成21年度～

《質疑等》

会 長：アンダーパスの安全性はどうなっているか。

事務局：内装はコンクリートの打ちっぱなしなので、明るい色で化粧をし、照明等で明るさを確保し、防犯面での設備も検討しております。

委 員：会議所としては地元企業を使っていたかという御配慮をしていただきたいということと、モリーさんが移転した跡地も地元企業を入れていただくようなご配慮をお願いしたいと思います。

事務局：できるだけ地権者と協議し配慮したいと思います。

委 員：モリー等立ち退きされた跡地がかなり暗い。今後空き地が増えてくるので照明をつけて欲しい。

事務局：事業区域内であるため、仮設照明などを検討する。

委 員：我々では気付かない意見ですね。

委 員：駅広場にはどんな人に来て欲しいかという意向はあるのか。駅に向かって賑わいが欲しいと思うので、駅にどんな企業や商店を望んでいるのか。

事務局：この地域は商業地域ですので、地権者の方の意向があると思いますが、協力を求めながら賑わいを持たせたいと思っております。

委 員：いかに賑わいのあるまちづくりができるかが大きな課題だと思います。

委 員：看板などを考慮し全般に歴史のまちというようなことが感じられるようにして欲しい。

事務局：景観ガイドラインをもとに指導・助言していきたいと思っております。

シビックコア整備計画について

地 整：別紙にて説明。

前回の会議以降動きがあったところとして、別紙2枚目の下段の廿日市市（広島県）と長岡防災（新潟県）の2箇所が新たにシビックコア地区として指定された。概要については、おのこの基本方針のとおりとなっている。

事業としては、旭川にて合同庁舎の着工を予定しており、那覇市では事業を着手しているという状況。

高山のシビックコア地区については、4～6年後を目途に予定しているが、着工時期については未定。

中に入る省庁などは未定。区画整理事業にあわせて行っていく。

委員：平成7年頃から数回この計画の話聞いており、区画整理事業が終わるまでに合同庁舎を建てると聞いている。今の話だと時期が未定だと説明があったが、区画整理が終わるまでには動きがあり完成するという見通しはないのか。

現在の税務署の場所が狭く、青色申告会をはじめいろいろな面で早く移転をとという意見が強い。区画整理事業と同時にやっていただけると期待を持っている。

地整：合同庁舎の計画については、中部地方整備局としても緊急性というか必要性が高いと思っている。合同庁舎を建てたあかつきには、先ほどおっしゃっていた国の施設を集め、接道する道路の関係からしても比較的早く整備するべきものだと考えている。

未定と申し上げたのは、国の予算が関係するので、現段階ではっきりと何時行うと言えない状況であるという意味です。

整備局としては、この事業にあわせて行いたいと思っている。

委員：前向きに宜しくお願ひしたい。

会長：資料に、平成17年度までの計画が掲載されているが、今後いくつまでシビックコア計画として認めていく方針なのか？

地整：数の制限は無い。計画を行う意思のある地区については、要件を満たせば地区が増えていく。

会長：数が増えすぎると現段階で計画されている地区が、整備されない恐れが出てくる。

増えすぎた為に高山市がしてもらえなくなるという心配がでてくる恐れがある。

優先順位を設ける必要がある。

委員：シビックコアの計画の中で、合同庁舎に入る省庁の案があったが、その中に測候所があったが現在無くなってしまったが、その分は縮小されるのか。

地整：人が減ったので、縮小される。

行政サービスの見直しによる組織の統廃合によって、実際に合同庁舎が完成する時の体制による縮小も考えられる。

実際に庁舎を建てる際は、どれくらいの規模の建物が必要になるか調査するので、直前になってみないと分からない。

委員：アンダーパスと合同庁舎の地下を結ぶということは考えられないか。

地整：可能性としてはあるがアンダーパスの構造と、合同庁舎の計画時に住民サービスの面からその方が良いということになれば、選択肢としては無いわけではない。

会長：アイデアとしては面白い。ただし、現段階からの変更は難しい。

今後の課題・進め方について

事務局：駅舎・自由通路・駅前広場について、駅舎、自由通路については平成21年度より工事に係る予定です。

基本計画を平成18年度、概略設計を平成19年度、詳細設計を20年度に行い、平成21年度からの工事着手というスケジュールとなっております。

駅舎・自由通路・駅前広場の検討事項として、「駅舎のデザイン（高山らしさ）」「どんな機能が必要か（観光駅なので、単に通過する駅で良いのか）」「交通手段への対応（目的地へのバス・タクシー等への乗り換え）」「歩行者、自転車の動線（バリアフリーでユニバーサルデザインに配慮した駅・高齢者やちびっこ、障害のある方にやさしく、駅東西がスムーズに行き来できるような形状）」を検討していく必要があると考えます。

今後の進め方としまして、地元町内会、各種関係団体としてバス・タクシー・旅館組合・一般市民の方などより意見を聴取し、意見を踏まえながら次に公共空間検討部会にて調整をしながら計画を練っていききたいと思います。

市内部では、議会におきまして駅周辺特別委員会また政策調整会議など踏まえて進めていきたいと思えます。

公共空間検討部会の進め方について、第1回の部会を6月に行い、現状及び問題・課題点を把握し、第2回を9月に行い、基本方針の策定・たたき台の案に対する意見聴取を行って進めていく。

10月には、中間報告としてまちづくり協議会に諮る。

そのご2回程部会を行い、平成18年度の2月に最終的な基本計画の案を策定し報告を行いたいと思えます。

委員：駅舎はJRとどのような関係があるのか。

事務局：アンダーパスと同じく、JRの敷地内の工事は軌道の安全性確保という意味で、JRに委託する形になる。

市が直接工事をする事ができない。

委員：駅の機能を検討していくということですが、JRとはどうなるのか。

事務局：JRと協議しながら、皆さんに諮っていきます。

委員：駅の機能として、出会い及び情報の収集ができることを望む。案内所が駅の中に入ることはあるのか。

事務局：今後の重要な検討課題であると思えます。

駅舎の関係は、平成10年にJRと覚書を交わしている。その中では地平駅となっているが、他市の例をみると100%橋上となっているため、今後皆様と駅舎のタイプ等を検討していただくことが必要です。

会長：JRの敷地内なのでデザイン等の権利はJRにあるが、公共性から考えると地元の相談を受け行うのが紳士的だと思うが、JRがどう考えるかわからないので、協議していく必要がある。

委員：平成13年に56万人という駅乗降客とあるが、現在はどうなっているか。

委員：去年からJRの乗降客数を発表しなくなった。

会長：駅の機能を図るため、乗降客数だけではなく、大きい駅になるほどJR以外の利用が増えるため、JR以外の利用者も把握しなければならない。タクシーやバスのスペースはどれだけ必要かを把握する必要がある。通常、愛知、岐阜、三重で調べてはいるが、高山は調査地域ではなく調べていない。

駅にくる人が、どういう手段で来ているかも把握するべきである。駅東西の行き来を把握し自由通路を考えるべき。

デザインも大切だが、機能も重要となる。

事務局：駅利用者のうち半分が観光客となっている。

駅のスペースは限られているので、現在の東側の機能を西側に分散し、ユニバーサルな駅を考えている。このことは公共空間検討部会で諮りながら検討していきたいと思います。

会長：JRの駅に対する考え方は、乗降客で決まる。高山は観光地だから、単に乗降客で決めるのではなくデザインや機能面でそれ以上の駅を望む。

委員：駅舎ができた後、今の駐車場はどうなるのか。

委員：駅東には駐車場が無くなるが、西側に約300台の立体駐車場を設ける予定である。

委員：平成19年に高山インターが開通するので、高山市へ入る車がそちらのほうからか入るようになる。市内への進入路が変わってくる為、駅への交通機能を見直す必要がある。

事務局：アンダーパスからバイパスまでは、アンダーパス完成には間に合わないが、街路整備を行う予定である。

会長：インターができると大きく流れが変わる可能性が強い。バイパスからの流れを考える必要がある。

委員：アンダーパスは、大型バスが通れないので市内には入って来られない。西側の駐車場を利用することが考えられる。

委員：新しい高山インターができて西インターで降りてしまうとされている。

委員：降りるように誘導する必要がある。

委員：高山インターで降りた車は、松ノ木の大八診療所や三福寺付近を改良しないとむこうへ裁けない。

委員：和井田の跡地はどうなるのか。文化会館の駐車場が小さく、駅西の駐車場を利用しているが、行事があるときはいっぱいとなる。今後どう考えているか。

事務局：300台の立体駐車場が代わりとなると考えている。和井田の土地を市が購入してまで駐車場を確保することは考えていない。

委員：この委員会にJRを呼べないのか。

事務局：何度も勧誘しているが、入ってもらえない。他市も同じとなっている。

委員：伊勢の委員会には最近ではないが入っていた。

会長：構想計画の段階では入ってくるが、具体性がでてくると入ってこない。

《閉会》